

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>クビレミドロ監視地点及び、工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は3月27日のst.1で3.5mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は3月17日及び3月27日のst.4で2.8mg/Lであった。</p>		<p>今月の県施工事は、県道20号線(泡瀬工区)で、支持杭撤去、閉塞工(砂投入)、汚濁防止膜設置等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p> <p>今月の国施工事は、浚渫工事で、泊地浚渫、土運船運搬、揚土、浚渫土工、土砂運搬、排砂管設備撤去、陸上排砂管設備撤去・積込、汚濁防止膜撤去、灯浮標撤去、深浅測量等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p>	
	水質調査結果	詳細結果	<p>クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】</p> <p>全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は1.3mg/L、0.4～3.5mg/Lの範囲で推移していた。</p>	
<p>工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】</p> <p>全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は0.7mg/L、0.2～2.8mg/Lの範囲で推移していた。</p>				
<p>流入部負荷量の調査地点</p> <p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=3回(25計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(25計測中) 平均値は8.0mg/L、1.9～39.5mg/Lの範囲で推移していた。</p>				
<p>流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p> <p>3/17の39.5mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日15.0mm、前日0.0mm、当日0.0mmであり、降雨による濁水流入もみられなかった。</p>				
基準超過時の気象概況	<p>全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p>	
	基準超過時の工事状況	<p>全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>		







第12回(3月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和5年3月1日～令和5年3月31日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討	
目視 観察 結果	<p>調査地点の最高値は3月24日(PM)のst.6で観測された5.8mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>				
	水質 調査 結果	<p>工事の濁り監視地点基準値 【st.5～8: SS=11mg/L】</p>	<p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は2.0mg/L、&lt;1.0～5.8mg/Lの範囲で推移していた。</p>	特になし	
		<p>流入部負荷量の調査地点</p>	<p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=25計測中6回 st.15=25計測中3回</p> <hr/> <p>SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=25計測中0回 st.15=25計測中0回</p>	特になし	
		<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p>	<p>st.14:3/20 (AM 下げ潮時)31mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は調査前々日9.5mm、前日0.0mm、当日4.5mmであった。低水位、風浪による底質の巻き上げによる影響が考えられた。 st.15:3/17 (PM 満潮-下げ潮時)17mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は調査前々日15.0mm、前日0.0mm、当日0.0mmであった。</p>		
基準超過時の 気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p>		
基準超過時の 工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>				



